

ボランティア
支援者用てびき

マナビバ



※
エニビツは食べ物ではありません。



マナビバー

-始良市子どもの学習・生活支援事業-

社会福祉法人始良市社会福祉協議会

目 次

Q1. 「子どもの学習・生活支援事業」とは？	2
Q2. 始良市子どもの学習・生活支援事業 マナビバ とは？	5
Q3. マナビバ の具体的な内容は？	8
Q4. マナビバ ではどのように子どもたちに関わればいいのか？	13
Q5. マナビバ で活動するときに気を付けることは？	15
Q6. 一番大事なことで何ですか？	18
Q7. マナビバ に協力したいときはどうしたらいい？	22



Q1. 「子どもの学習・生活支援事業」とは？

平成27年4月に施行された

「生活困窮者自立支援法」に基づいた事業です。

この法律では子どもへの学習支援を通して、

「貧困の連鎖」を防ぐことを目的としています。

しかし、この事業は単に一緒に勉強をすることにとどまりません。複雑で過酷な家庭環境の中にある子どもの「居場所」を確保しつつ、子どもが真に自立するための支援を行ないます。

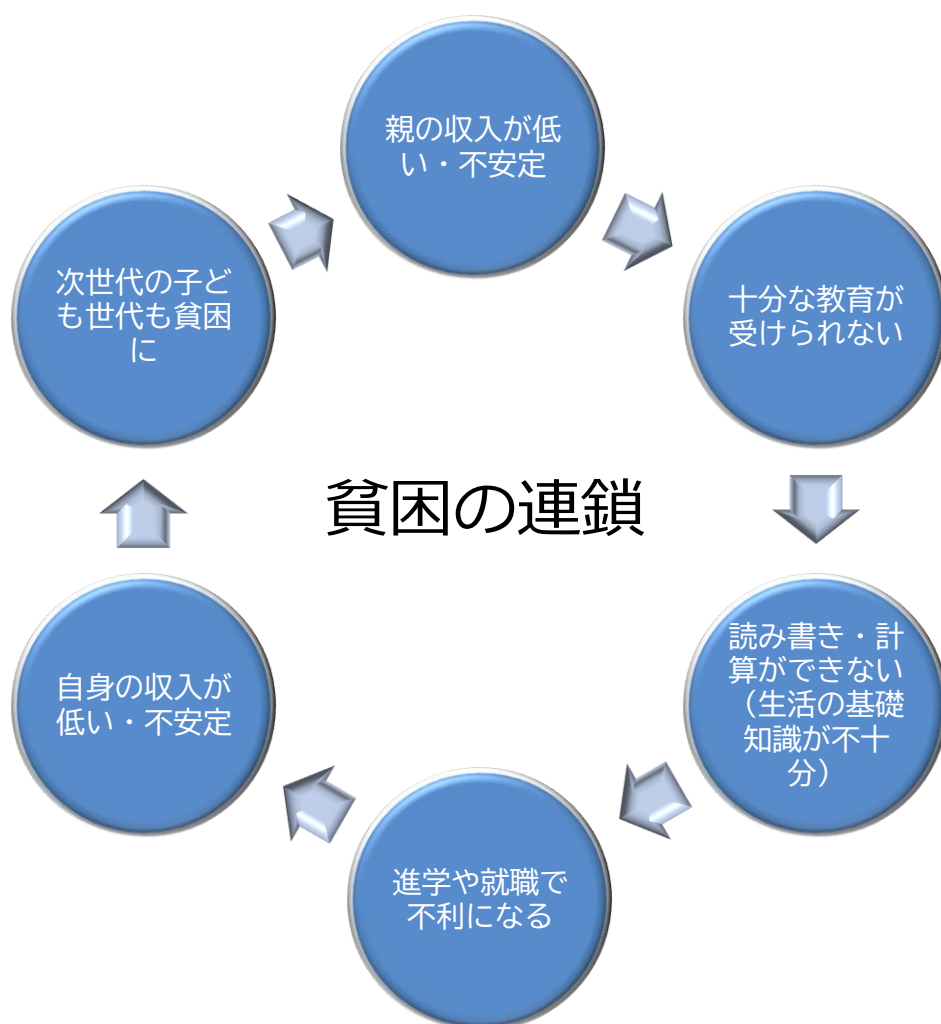
※「生活困窮者」とは

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが出来なくなるおそれのある方のことです。

生活保護受給者となる一步手前の状態。生活保護には至ってはいませんが、生活が苦しいことに変わりはありません。

※「貧困の連鎖」とは

生活保護世帯で育った子どもが、大人になって自身も生活保護受給者となるなど、親の貧困が子どもの貧困につながっていく状態を示す言葉です。



(参考1) 鹿児島県の現状

(2017年6月30日発表「かごしま子ども調査」の結果より)

子どもの貧困率：12.9%

(うち母子世帯：39.7%)

(全国13.5%：2018年厚生労働省)

※「子どもの貧困率」とは

全国の平均的な可処分所得（家計の手取り収入のこと。約244万円。）の半分（122万円）を下回る世帯で暮らす18歳未満の子どもの割合。

(参考2) 始良市の現状

(『始良市統計書 令和4年度版』より)

・高校進学率（2022年）：99.1%

(全国98.8%)

始良市の高校進学率はほぼ100%。しかし、進学後不登校になったり、中退したりする人もいます。

・大学進学率（2022年）：50.9%

(全国56.6%)

・ひとり親世帯数（2022年）：744世帯

(母子世帯684、父子世帯60)

Q2. 始良市子どもの学習・生活支援事業 **マナビバ** とは？

子どもも大人も何らかの「学び」を得られる居場所
=マナビバ（学び場）

生活困窮者世帯を主とする学習に課題を抱える子ども達に対して、基本的な生活習慣を習得し、経済的な理由などにより学習や進学の意欲が低下したり、十分な教育が受けられないことがないように学習の場と安心して過ごせる居場所を提供します。参加は無料です。

学習塾のような大幅な学力向上を目的とはせず、自ら学習に取り組める環境づくりや基礎学力を身につけるための指導を行なっています。



マナビバ は平成29年7月より始まり、

ひとり親世帯、生活保護世帯、生活困窮者世帯、不登校や
学習障害、発達障害の子どもを含め、約250名の子ども達が
登録しています（2023年10月）。

現在は、市内3か所の始良市社会福祉協議会（始良地区、
蒲生地区、加治木地区）で祝日・第二土曜日を除く毎週土
曜日10:00～12:00・13:00～15:00（長期休暇中は期間を決
めて、月曜日～土曜日）に実施しています。

※実施日については、マナビバのチラシでご確認ください。

時間帯や日程など変更になる可能性があります！

始良市社会福祉協議会

始良市宮島町26-19（始良市役所前）

☎ 0995-65-7048



※平成29年7月～



蒲生高齢者福祉センター

始良市蒲生町白男347

☎ 0995-52-1400



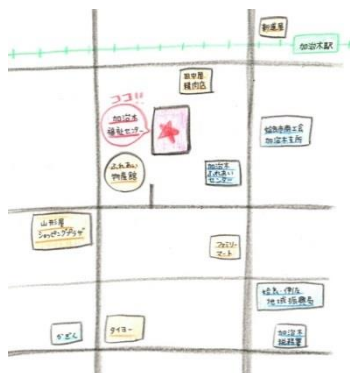
※平成29年11月～



加治木福祉センター

始良市加治木町本町393

☎ 0995-62-2041



※平成30年1月～



Q3. マナビバの具体的な内容は？

- ・基本的に自習形式です。授業形式の講義等は現在行なっていません。参加者の多くは、学校の宿題に取り組み、それが終わるとぬりえやおえかきをしています。なかには自分で問題集やドリルを持参する子どももいます。
- ・学習支援の時間内については、学習参考書や辞書、文房具など学習道具の貸し出しを行なっています。会場外への持ち出しや持ち帰りはできません。
- ・参加者は、登録が必要です。
参加するにあたって事前連絡をお願いしています。



対象者は、始良市内在住の小・中学生です。状況によっては、未就学児や高校生も参加可能です。

生活保護世帯、準要保護世帯の子どもが当初の予定ですが、世帯の収入要件などは特に定めず、

特に「学習」に関し何かしらの課題がある子どもを対象としています。

経済的に困っていなくても、両親が居ても、寂しさを感じていたり、学習に課題を抱えていたりする子どもも少なくありません。

※ エンビツは食べ物ではありません。



《 マナビバ の目的 》

- ・ 基本的な生活習慣（睡眠、食事、衛生、あいさつ、マナーなど）を身につけること。
- ・ 自ら学習に取り組める意欲・環境を作ること。
- ・ 基礎学力を身につけること。
- ・ 仲間や大人との信頼関係を築くこと。
- ・ 自己肯定感を高め、自信を持って生活すること。
- ・ 将来の夢や目標を見つけること。
- ・ 学力を伸ばし、志望校へ進学すること。

学力向上以前に、学習習慣の定着のためには、基本的な生活習慣の獲得が欠かせません。

また、学業成績が上がれば子どもの抱える問題の全てが解決するとは限りません。

「学ぶ」とは、机に向かって教科科目の学習のみにとどまりません。自分と異なる年齢や学校の子どもたち、親や学校の先生以外の大人とのかかわることそのものが、子どもたちにとっては大切な「学び」だと考えています。

そのため、**マナビバ**では様々な体験学習や交流会も行います。

むかし遊び体験



料理教室





一般的な学習塾のように、学力向上を第一目標とするのではなく、
マナビバに来ることで自己肯定感や自己有用感をはぐくみ、
学習意欲や進学意欲を高めることにより、
自信を持って自分の人生を自分で切り開いていく力を身につける。
その土台となる「居場所」となることを目指しています。



Q4. マナビバ ではどのように子どもたちに関わればいいのか？

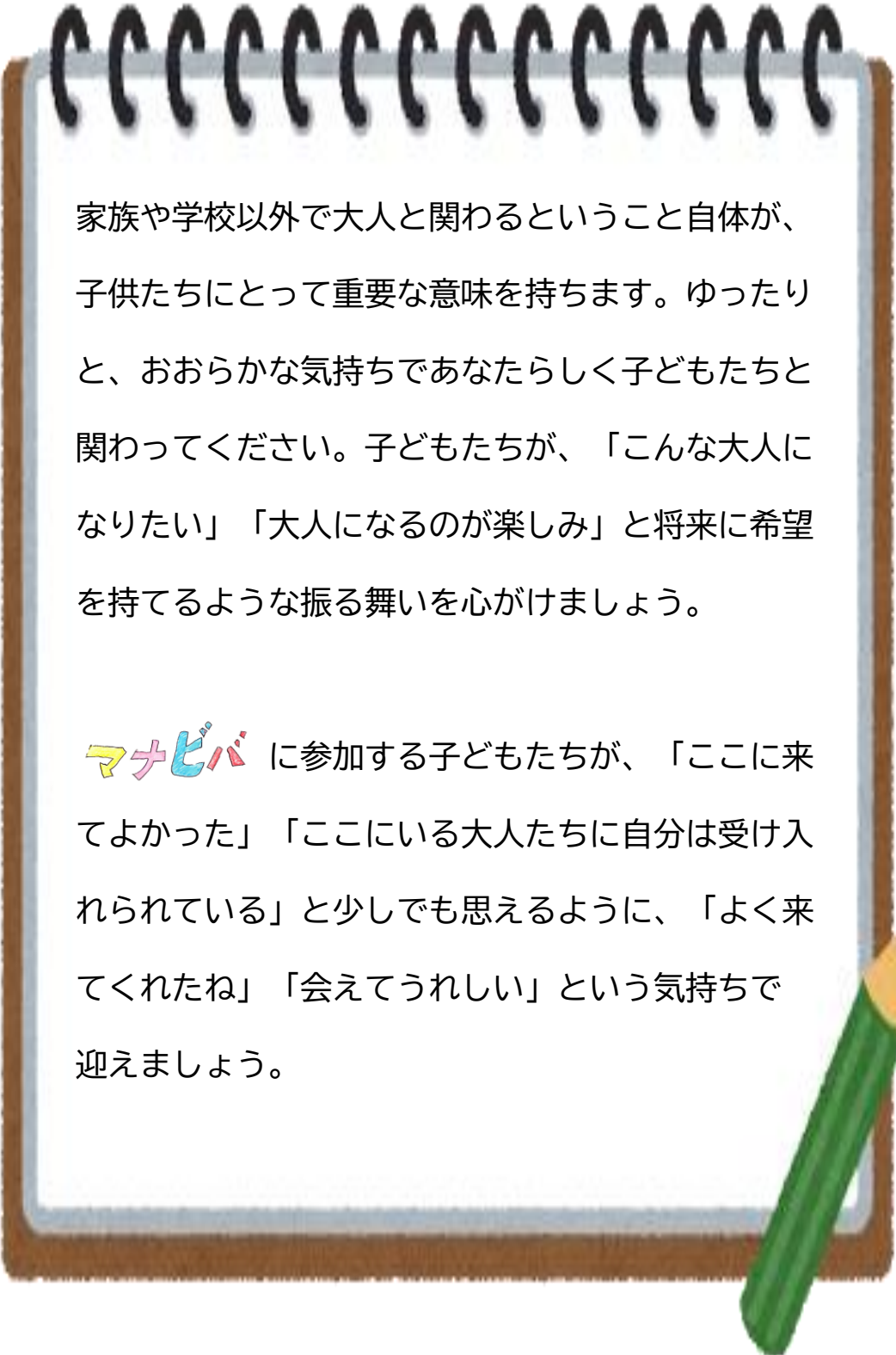
ボランティアの皆さんには、基本的に子ども達の
「見守り」をお願いしています。

もちろん、子どもたちが教えてほしいという時には、
勉強を教えてくださいと助かります。


子どもの頃勉強が苦手だったからこそ、子どもの
気持ちが分かるということもあるでしょう。

子どもたちの話を丁寧に聞いたり、一緒に遊んだり
することが好きな方、子どものために何かしたいと
いう思いのある方に是非協力していただきたいと
思っています。





家族や学校以外で大人と関わるということ自体が、子供たちにとって重要な意味を持ちます。ゆったりと、おおらかな気持ちであなたらしく子どもたちと関わってください。子どもたちが、「こんな大人になりたい」「大人になるのが楽しみ」と将来に希望を持てるような振る舞いを心がけましょう。

に参加する子どもたちが、「ここに来てよかった」「ここにいる大人たちに自分は受け入れられている」と少しでも思えるように、「よく来てくれたね」「会えてうれしい」という気持ちで迎えましょう。

Q5. マナビバ で活動するときに気を付けることは？

●子どもと仲良くなりすぎに注意

- ・子どもと携帯電話やメール、SNS等の連絡先を交換しない。
- ・子どもと マナビバ の活動外で会わない。
- ・子どもとお金やものの貸し借り、譲受をしない。

●プライバシーの保護を忘れずに

- ・ マナビバ で知り得た個人情報を他に漏らさない。
- ・子どもの名前やその他個人を特定できる情報を口外したり、紙に書いたり、インターネット上で公開しない。
- ・子どもや マナビバ の活動の様子を写真、動画、録音などで記録に残さない。

●スタッフは、指導者ではなく、「応援者」

- ・頭ごなしに子どもに対して否定的な言葉をかけない。
- ・子どもに故意に触れない。
- ・暴力・暴言をしない。
- ・子どもが話すことにじっくり耳を傾け、話を途中でさえぎらない。

子どもの様子で気になることがあったり、子どもから相談を受けたりした場合は、一人で抱え込まず、職員までぜひお知らせください。

質問や意見・悩みなどある場合も、職員に相談しましょう。



《効果的な言葉かけ》

色々な子どもがいるので正解はありませんが、子どもたちは、わたしたちのほんの一言で、喜んだり、やる気をなくしたりします。

「ちがうよ!」「そうじゃないでしょ!」ではなく「惜しいね!」「ここまではよくできているね」「もうちょっとでできるよ」など、子どもが「できていること」に目を向け、それを全力でほめてみましょう。

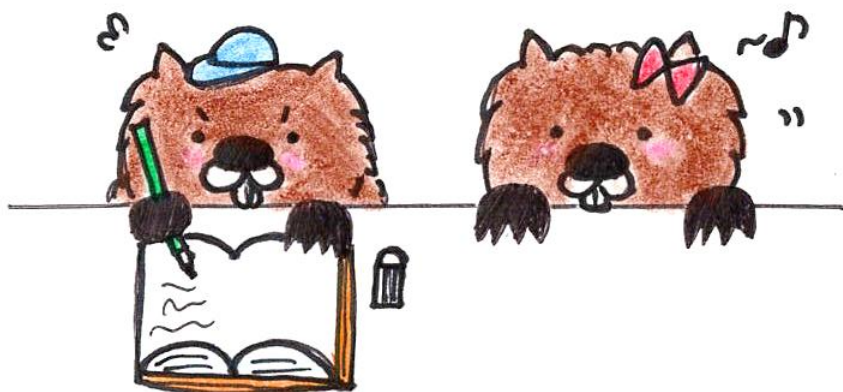
子どもたちは、一度やる気ができると、あとはこちらから特別なことはしなくても自分からどんどん勉強を進めていきます。

マナビバの参加者の中には、「ふだんほめられ慣れていないのかな?」と感じられる子どももいます。また、家庭でかまってもらっていなかったり、甘えたいのに甘えられない、という状況の子どももいます。わたしたち大人にかまってほしくてわざといたづらをしたりふざけたりすることもあります。そのようなときは、すぐに叱るのではなく、「どうしてこの子はこのようなことをするのか?」と、子どもの言動や行動の背景に心を向けてみましょう。

Q6. 一番大事なことで何ですか？

子どもたち一人ひとりが健やかに成長していけるように、
子ども一人ひとりと真剣に、丁寧に関わること。
活動者全員で、一人ひとりの子どもを
大切に見守っていくこと。


子どもたちは、「自分を見てくれている、認めてくれている人がある」と実感することで、自分を認め、他人を認めることができるようになります。



将来を担う子どもたちは、

一人ひとりが大切な地域の、国の、宝です。

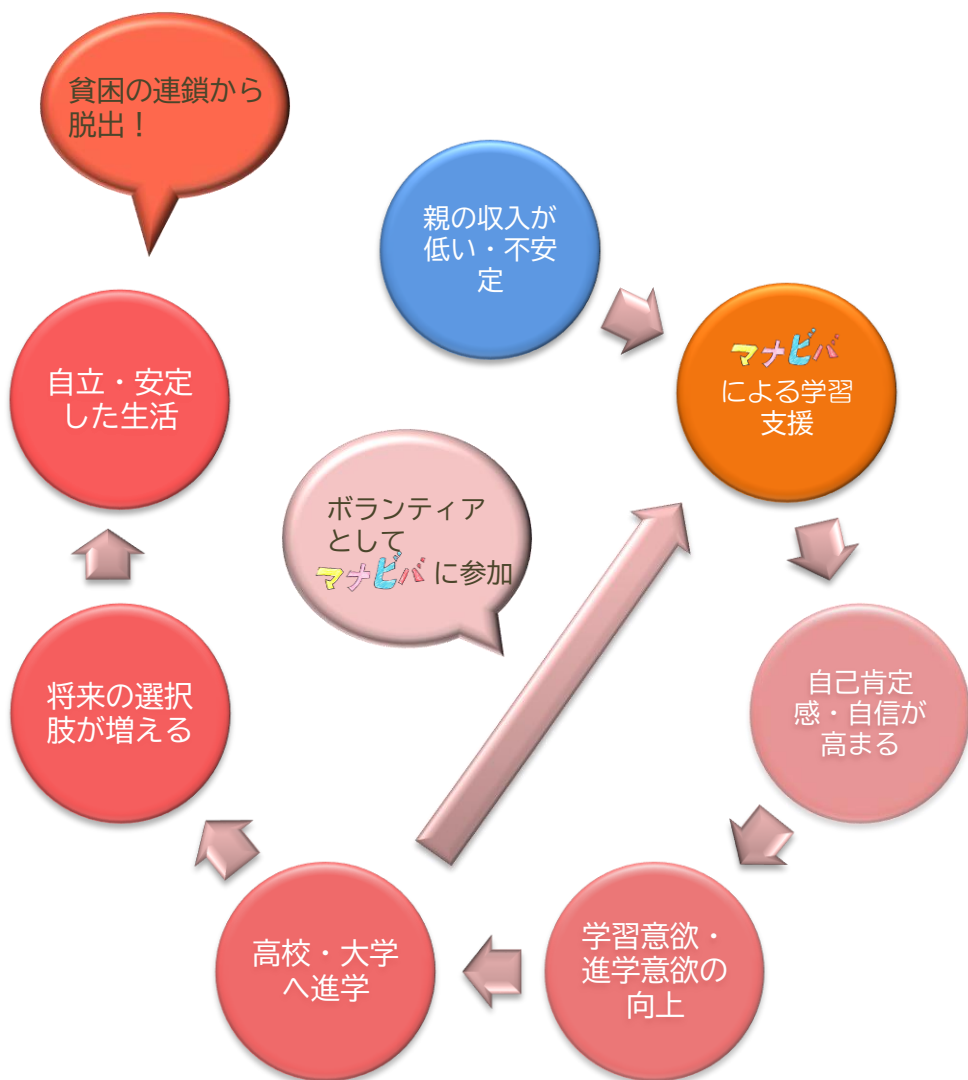
経済的な困窮の有無にかかわらず、学校になかなか行けない子ども、ひとりで過ごす時間が多い子ども、寂しさや苦しさを抱えている子ども、自分を大事に思えず、将来の夢や希望を持たずにいる子ども、問題行動を起こしたり非行に走る子どもがいます。

の活動を通して、子どもたち一人ひとりに目を向け、スタッフ全員で見守り続けることが重要です。また、子どもたちにとっては、様々な仲間や大人とふれあい、安心して過ごすことが出来る、そんな居場所となる活動にしていきたいと思います。

マナビバ の「夢」

マナビバ に参加した子どもたちが、高校生や大学生になって、ボランティアとして マナビバ に戻ってきてくれるような「居場所」にしていくこと。

そのためにできることを、子どもたちに関わるスタッフ全員と一緒に考え、実践していきましょう。



マナビバ は、多くの方々のご協力により成り立っています。

これまでご協力いただいた方々は、以下のとおりです。

(各団体へのお問い合わせはご遠慮ください)

地域の方々

- ・ 始良市食生活改善推進員協議会
- ・ 北吉そろばん教室
- ・ 資生堂ジャパン株式会社
- ・ 社会福祉法人 鹿児島県母子寡婦福祉連合会
- ・ 白金原老人会 かがやき会
- ・ 青年司法書士会
- ・ 特定非営利活動法人 NPOかごしまネットワーク会議
- ・ 特定非営利活動法人 くすの木自然館
- ・ 特定非営利活動法人 フードバンクかごしま
- ・ にくぱぐ子ども食堂（やまさきの焼鳥）
- ・ 有限会社 博多屋事務器

学校関係

- ・ 始良市ジュニア・リーダークラブ「どんぐり」
- ・ 学校法人 鹿児島学園 加治木専門学校
- ・ 学校法人 志學館学園 鹿児島女子短期大学
- ・ 学校法人 都築教育学園 第一工業大学
- ・ 学校法人 津曲学園 鹿児島国際大学
- ・ 国立大学法人 鹿児島大学

その他有志の方々

(50音順・敬称略)

Q7. マナビバ に協力したいときはどうすればいい？

始良市社会福祉協議会・子どもの学習・生活支援「マナビバ」担当までご連絡ください。LINEやメール、電話でも構いません。

ご希望をおうかがいのうえ、ご協力いただく会場や日程を調整させていただきます。

学習支援実施時間外であっても、事務所開所時間内（祝日・年末年始を除く月～金、8:30～17:15）であれば、会場の見学、事業内容説明など対応いたします。

ご興味のある方は、是非お気軽にご連絡ください。

あなたのご協力をお待ちしております。





-始良市子どもの学習・生活支援事業-
社会福祉法人始良市社会福祉協議会

令和5年10月作成

お問い合わせ先

始良市社会福祉協議会

〒899-5432

鹿児島県始良市宮島町26-19

☎ 0995-65-7048

✉ manaviva@aira-shakyo.jp

受付時間：月～金（祝日・年末年始を除く）

8:30～17:15



LINE 公式アカウント
友達追加はこちらから

